

日南看護専門学校 単位認定試験 問題用紙					
科目	地域・在宅看護方法論 1	講義時間数	8/15 時間	単位数	1 単位
講師名	山内 さくら	試験月日	2026 年 1 月 7 日 (水)		
学籍番号		学生氏名			

【問1】 地域・在宅看護実践に欠かせない要素について書かれたものである。下線部の2つの要素について答えなさい。また、①～⑦に入る語句を記入しなさい。 教 2P52～、プリント①④

地域・在宅看護実践に欠かせない要素として大きく2つある。1つめの要素に関して、は、対象者の暮らしは、
有例 ①) だけで支えられるものではないということである。地域・在宅看護実践では、病院のような単一組織での実践ばかりではない。それぞれ ②) も ③) も違う専門職が連携・協働することになる。

まず、他職種と連携・協働するにあたっては、それぞれの職種の「できること」「できないこと」の ④) 的な制限および、⑤) という業務形態に伴う制限も出てくると理解しておく必要がある。

連携とは、それぞれの役割が ⑥) されていて、自分の役割をこえるところは他職種に依頼するイメージである。協働は自分の役割に ⑦) を引くのではなく、多職種が助け合って対象者を支えるイメージである。

① 介護支援士という役割をもつ
② 介護支援士という役割をもつ
③ 介護支援士という役割をもつ
④ 介護支援士という役割をもつ
⑤ 介護支援士という役割をもつ
⑥ 介護支援士という役割をもつ
⑦ 介護支援士という役割をもつ

【問2】 下記の文章は多職種連携コンピテンシーについて書かれたものである。①～⑤に入る語句を記入しなさい。(④と⑤は順序が逆でも OK) また、多職種連携コンピテンシーの 2 つの核と、4 つのドメインを答えなさい。プリント④

多職種連携コンピテンシーとは、多職種連携を実践するために必要な ①) をいい、異なる専門分野のプロフェッショナルが ②) 的に協力し合うための ③) 的な ④) や ⑤) のことである。

① 能力
② 相互
③ 相互
④ 連携
⑤ 協働

【問3】 下記の文章は、地域で働く看護職に求められる役割について書かれたものである。①～⑨に入る語句を記入しなさい。(④と⑤は順序が逆でも OK) プリント④

多職種連携における看護職の役割は、それぞれの身分法に定められた業務範囲などを知り、①) を重ねることである。これには、多職種が身分法の範囲で ②) を実施する際、③) に実施できるよう、必要に応じて看護職も支援することも含まれる。

そして、地域で働く看護職は、④) と ⑤) の両方に知識を持った専門職である。求められる役割としては、直接的な看護支援を行うなかでは、⑥) したほうがよいと考えられる④と⑤に関する情報を他職種に伝える。また、対象となる人や家族の言いにくいことなどを ⑦) する役割もある。そして、その人の ⑧) に沿った生活を送れるように支援をしていくこと。各専門職から得た情報や ⑨) を対象となる人へのケアや内容に役立てる といった役割がある。

① 業務
② 職務
③ 効率的
④ 医療
⑤ 生活
⑥ 共有
⑦ 伝言
⑧ 意向
⑨ アドバイス

【問4】 木佐貴先生の講義資料の中に、社会連携という言葉がありました。下記はその社会連携について書かれたものです。①～⑥に入る語句を記入しなさい。

医療・介護のみならず、異分野・①) が、共に ②) に取り組み、③) を実現する過程のことであり、地域の ④) 、エコシステムを完成させるために、⑤) ・多職種連携に加え必要とされる第3の連携の ⑥) である。

① 異分野
② 課題
③ 理想
④ システム
⑤ 社会連携
⑥ 条約

① 異分野
② 課題
③ 理想
④ システム
⑤ 社会連携
⑥ 条約

日南看護専門学校 単位認定試験 解答用紙					
科目	地域・在宅看護方法論 1	講義時間数	8/15 時間	単位数	1 単位
講師名	山内さくら	試験月日	2026 年 1 月 7 日 (水)		
学籍番号		学生氏名	77/100		

【問1】 7点 11.5

①	看護師	②	所属	③	背景
④	法	⑤	医療行為	⑥	負担
⑦	限界線				

地域・在宅看護実践に欠かせない要素(2つ) 4点 4

介護支援士という役割をもつ	介護支援士という役割をもつ
---------------	---------------

【問2】 10点(④・⑤は入れ替え可) 1.5

①	能力	②	相互	③	相互
④	連携	⑤	協働		

2つの核 6点 0.5

他職種を理解する	他職種を支える
----------	---------

4つのドメイン 8点 8

職種役割を全うする	他職種を理解する
関係性に働きかける	自職種を省みる

【問3】 18点(④・⑤は入れ替え可) 12.5

①	業務	②	職務	③	効率的
④	医療	⑤	生活	⑥	共有
⑦	伝言	⑧	意向	⑨	アドバイス

【問4】 12点 4

①	異社会	②	課題	③	理想
④	システム	⑤	社会連携	⑥	条約